



MARUOKA

会長 藤本 豊 幹事 水上智愛

創立 昭和53年3月21日 承認 昭和53年4月6日
<http://www.maruoka-rotary.com/> (No.14497)

今回例会 第1421回
 平成19年3月28日(水)
 外部卓話
 『最近乱れている日本語について』
 青少年育成福井県民会議
 会長 澤村 龍馬 様



率先しよう
 ビル・ボイト R・I 会長 平井義久ガバナー



Mutual Trust
 奉仕の感動を分かち合おう。

次回例会 第1422回
 平成19年4月4日(水)
 お花見例会
 丸岡城二の丸公園
 ローターリー植樹の桜の下で
 6時集合 6時30分点鐘



今日のローターリーソング

『奉仕の理想』



藤本会長 挨拶

(3/14)



昨日高知空港でもう少しで大惨事になるような航空機事故がありました。何週間前にも外国でありましたので大変心配しましたが、乗客も無事ではとしました。

米山奨学生の楊君が半年振りに帰ってきました。本国での調査研究のために行っていましたが、また県立大学での勉強に戻ります。お土産にプーアル茶をいただきました。



水上幹事 報告

4月 例会予定

今年は気温が暖かく桜が咲くのが早くなりそうなので当初の計画より変更しました。



4日	お花見例会	丸岡城二の丸広場 本田料亭
11日	カープミラー清掃	坂井警察署 9時45分集合
18日	国際ソロプチミストとは	ソロプチミスト福井 会長松村穎子様
25日	情報集会	西野情報委員長

- ※ 拉致被害者家族支援義捐金をお願いします。募金箱を例会会場に置きますのでご協力をお願い致します。
- ※ 米山記念奨学会 奥村雅徳会員 「第1回 米山功労者」表彰楯 2007年7月より表彰品一部改定のお知らせ
- ※ 「2006~07年度 新世代のための会議報告書」は4月30日〆切り
- ※ 職業奉仕講演会の講師の佐藤千寿様より「双鯉雁信帖」の寄贈
- ※ 武生府中RC 6月2日 創立30周年記念式典・祝宴の案内

第1420回例会 委員会報告 (3月14日現在)

出席委員会

会員数	出席	欠席届有	欠席届無	メモアップ	出席率%
35	27	7	1		77.14

ローターリー財団特別寄付(個人寄付)・・・(ABC順・敬称略)

藤本・林田(数)・金・下田・高嶋
 年次袋完了=計 26名 (本日6,000円 本年度累計623,000円)

米山記念奨学会(個人寄付)

藤本・金・中田・下田・高嶋
 年次袋完了=21名 (本日6,000円 本年度累計457,000円)

ニコニコ箱・・・(ABC順・敬称略)

藤本——高尾さん、本日卓話ご苦勞様です。
 林田(数)——マルチブルバッチをいただいて。
 水上——高尾さん、卓話ご苦勞様です。
 中田——高尾会員、本日卓話ガンバって下さい。
 下村——前回例会を欠席しました。
 高尾——今日はお話を聞いて下さい。
 竹内——早退させて頂きます。
 釣部——チョット嬉しい事があって
 誕生日を自祝——北、中島、山岸
 結婚記念日を自祝——金、奥村、下田、高嶋、竹内、竹澤、山下

本日の合計	本日迄の累計	前年度との比較
43,000円	1,208,221円	1,420,000円

財団表



3月25日(日)
 丸岡ローターリークラブ杯
 第2回小学生オープン
 バドミントン大会開催

MPHF③ 林田数一会員
 MPHF② 林田千之会員、
 竹澤秀雄会員、高嶋勝美会員



県内クラブ 例会日

月曜日
 福井東 福井厚生年金
 敦賀西 サルビア 敦賀
 PM7:00 点鐘

火曜日
 福井南 織協ビル8F
 勝山 市民活動センター
 武生 武生商工会館
 若狭 小浜商工会議所
 福井フェニックス リンクトンホテル
 PM6:30 点鐘

水曜日
 福井北 リンクトンホテル
 敦賀 北陸銀行敦賀支店
 鯖江北 神明公民館
 福井水仙 神明神社
 PM6:30 点鐘
 丸岡 JA花咲ふくい丸岡支店

木曜日
 福井 ユアーズホテル
 武生府中 JA越前たけふ

金曜日
 福井西 グラントリア
 三国 三国観光ホテル
 大野 リブレ 4F
 鯖江 鯖江商工会館
 あじさい リバーシェアビル

卓 話

『 称念寺の歴史 』

称念寺 副住職

高尾誠会員

称念寺の住職と言いたいのですが、父が93歳で元気なのでまだ、私は副住職です。お坊さんは定年がありませんので、働ける間は現役です。今月は「青少年育成月間」と言う事で「新田義貞公」の話をしたと思います。



千数百年の歴史を20分で話さなくてはいけないのでお手元の資料を参考にしながら端折って、端折って話をしたいと思います。

称念寺は中世には長崎道場と呼ばれお念仏の道場でした。鎌倉時代末に一遍上人という方が出ました。踊り念仏をしながら布教を勧めた方です。踊りで救われるのではなくお念仏を勧める為のPRの方法として踊念仏をしました。人が集まる所に道場を造ります。以前は豊原と長崎に北陸街道がありましたので一番中心地でした。

縁起によれば当地長崎が湖のほりにあったころ白山権現がこの地に渡来した際、着岸した旧跡であったといひます。また泰澄大師というお坊さんがこの地を訪れ、養老5年(721)元正天皇の勅願を受け、阿弥陀堂を創建したと記録してあります。称念寺は泰澄大師が開いた、泰澄大師が舟を着けて松の木に結んだという松が江戸時代まで残っていたそうです。湖の長い岬があったところが『長崎』で、舟を寄せた所が『舟寄』になったと書いてあります。昨年パイプラインの工事をしてますがそこに縄文遺跡が出ました。縄文時代に人が住んでいたという事は湖や川や山があったと言う事です。以前に継体天皇の卓話を聞いた時に古代の越前平野が出ていました。やはり伝説とか伝承というのは大事にしなければいけないなと思いました。

鎌倉時代にはいろいろな宗派が出ました。道元が曹洞宗を開く。親鸞が浄土真宗を開く。時宗、日蓮宗など鎌倉時代は日本の歴史の中でも著名な宗教家が現れた時代です。

正応3年(1290)時宗(一遍上人が開く)の二代目の他阿(真教)上人が越前地方を遊行(おしえをひろめる旅をすること)のさい、当地の称念房が他阿上人をしたって建物を寄進したといひます。末の弟道性房は光明院という倉を寄進し、弟の仏眼房は私財一切を寄進したと伝えられています。光明院の倉とは単なる建物ではなく商業の銀行をさしてました。

大乘院文書から、称念寺の経済は海運業にたざさわる人によって支えられてきました。坂井平野は九頭竜川、竹田川、兵庫川が物流の大動脈となり、そこに舟を持っていたと言う事は今で言う商社、お寺が商社をしていたと言う事です。中世のお寺は舟を持ったり、倉を持って商業で栄えて、人々に信仰を伝えていました。今ある檀家制度は江戸時代になってからです。

鎌倉幕府も北条高時の頃になると、足利と新田は争いとなり、南朝と北朝に別れ日本中を巻き込んだ戦乱の世になりました。ここ越前地方もそうした戦乱の舞台になりました。新田義貞は灯明寺の戦いで戦死しました。

新田義貞は称念寺の住職と古くより交友を深めていたので、その遺骸は時宗のお坊さん8人にかつがれて手厚く葬られました。武将はお坊さんを連れて歩いていました。今もアメリカ軍のイランに行きますと従軍僧(牧師)と連れていきます。イギリス軍でも牧師さんは連れて行きます。この様なお坊さんを陣僧といい、武将が亡くなると菩提を弔う、怪我をすると手当てをする。戦線が膠着して来ると調停役をする。今で言う日赤奉仕団です。



今日は、先ほど「ロータリーの友」24ページで紹介されました称念寺住職の高尾会員です。今回はお坊さんシリーズになってしまいましたがよろしくお願ひ致します。

戦線が長引いて膠着状態になると、和歌をしたりお茶をしたり連歌をしたりします。お坊さんは中立で道場に逃げればそれ以上は追いかけない。新田義貞公が敗れると家来達が長崎道場から出家したと書いてあります。時宗のお坊さんは非常に危険な所に出かけていた。お寺を造るよりも出かけて現地で布教する事が一遍上人の教えであるといわれ、布教に力を入れていました。このようなお坊さんは情報を一杯持っていました。伝え・記録をします。従軍僧であり、ルポタージュですね。このような情報が【太平記】であり【平家物語】となるのでしょうか。中世の時代の戦いの事を知れるのはこのような記録があるからです。

徳川時代になると戦乱もおさまり、徳川の先祖は新田義貞ということで、称念寺を大切に保護しました。

しかし明治の版籍奉還により、無檀家無俸禄になり、経済的にピンチにおちいりやがて称念寺には住む人もなくなりました。しかし、新田義貞をしのぶファンや称念寺の歴史を惜しむ人々が力を合わせ、大正13年(1924)によりやく再建しました。

ところが、昭和23年6月28日にこの地方を襲った福井大地震により再び称念寺は壊滅的な打撃を受けました。檀家がないため一時は存続すら危ぶまれましたが多くの人々の協力により、今日までかかりようやく復興ができたのが現在の称念寺です。そのため規模や様子は大きく変わりましたが、新田義貞の菩提寺として訪れる人の多い寺として現在にいたっています。

鎌倉時代から、室町時代の南北朝時代といわれる全国的な動乱の時代です。皇族は勿論のこと、公家も、寺社勢力も、(武士)豪族たちも、両朝のいずれかに属して対立しました。南朝方の武士の中心が、新田義貞公、北朝方の武士の中心が足利尊氏です。

足利氏は天下の豪族に「利益」をもって処遇しましたが、南朝の頼るところは「名分論」に過ぎません。北朝のために戦えば領土は増えるし、敵方から略奪もできます。南朝のために戦っても、ほとんど実利につながりません。ところが南朝の側にあつて、身命をささげ滅びていった人々は決して少なくありません。その代表が、一族を挙げて戦った新田義貞公です。南朝に準じた人々は、剛毅不屈、正義を信じて愚直に戦いました。その盛大な理想精神は、心ある人々の胸の中に沈潜して、脈々と伝えられました。これは、『太平記』をはじめとする優れた書物・詩歌の類の影響も大であつたでしょう。

新田義貞公をはじめ南朝の健闘がなくなり、時代は理想どおりには行きませんが、その理想・精神は歴史に大きな成果を残されたのです。利に走りすぎた現代だからこそ、新田義貞公の生きざまが参考になるのでしょうか。

『ロータリーの友』ポイントレッスン

今日はちょっと面白い記事からしましょう!

P7 風紋—日本人のカトリックの神父さんです。27年前にコロンビアに行き、奉仕活動をしている。非常にショッキングな記事が出ています。

コロンビアは貧しい国です。子供が餓死していく、産科や教会の前にビニールに入った幼児が捨てられている。神父さんのところに埋葬依頼が来るが一日に20~30もあり、間に合わないこともある。

仲間のカトリックと一緒に結核患者の収容施設を造り、子供達の為に幼稚園を造り小学校、中学校、高校と造り卒業生も出た。そういう人の奮闘記です。すごい力です。日本の幾つかのNPO法人が支援していますが、これは是非読んで欲しいです。



金 雑誌・資料委員長

事務局 〒910-0254 Tel (0776) 67-0410 / Fax (0776) 67-4811

福井県坂井市丸岡町一本田34-7 JA花咲ふくい丸岡支店2F

例会場 JA花咲ふくい丸岡支店3F

例会日 毎週 水曜日 12時30分 会員数 37名

会報委員長 高尾 誠 副委員長 稲葉 治

委員 川端克治 下田重道